

(様式1)

## 令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 双葉小 ) 学校運営協議会長

### <本年度の目標>

- 学校の教育方針への理解を深め、学校での活動が更に充実するよう、学校の様々な行事や活動を積極的に参観したり、実際に参加したりして、具体的な感想や意見による改善や提案を行い、学校運営に寄与する。
- キャリア教育の柱となるキッズチャレンジビジネスを中心に、ボランティアの適切で効果的な活用についての学校とコーディネーターとの検討や協議を支援し、より充実した教育活動の推進に寄与する。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「やりたいことを見つけて、挑戦する子」を育てるというグランドデザインを理解し、熟議することができた。
- 校長より「夢に向かってともに伸び行く子」の具現に向け「やりたいことを見つけ挑戦する子」を育むことを目指していきたいとの説明があり、基本方針を理解し共有することができた。
- キャリア教育の推進を目指し、キッズチャレンジビジネスを6か年での取組として実践していく計画について熟議することができた。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校運営の基本方針を具現化するためのキッズチャレンジビジネスを充実させるため、今年度のボランティアの募集、キッズチャレンジビジネスへの振り返り、またいろいろな立場の委員との熟議を通し、今後の課題を見つけることができた。
- 1年間の見通しを学校と協議会で共有でき、活動の関わり方への見直し、この活動を来年度も続けていけるようにしたいという熟議ができた。常に学校運営の基本方針に沿っているかの確認もできた。
- 先生方や子供たちの様子を参観し、主体的に取り組む子供たちの姿を見ることができた。子供たちも満足している様子が伺えた。それらを意見交換し、熟議を進めることができた。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- コーディネーターが連絡調整を進めてくれた。新聞・地域情報紙などを通して、実践活動の情報発信が効果的に行われた。注意事項を踏まえつつ情報発信ができた。
- キッズチャレンジビジネスにおけるボランティアの勧誘をした。販売活動を地域の民生委員、児童委員に知らせた。
- 自治会の連絡網を通して、協議結果や諸活動の様子を発信することができた。
- 関係者への周知方法、理解していただく方法を十分考慮する必要がある。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- キッズチャレンジビジネスを中心に学校行事に積極的に参加したり、参観したりすることを通して実際に即した意見や提案を出し合い、改善に繋げてより充実した学校運営に寄与する。
- 学校運営協議会が学校支援にかかわる人材確保に貢献していけることを感じられているので、保護者や地域との連携を広げ、深める組織づくりを進める。
- 学校支援ボランティアを登録制として、持続可能な仕組みの立ち上げに協力し、より良い運営ができるよう、提案や改善に寄与する。